つながるカレッジねりま　みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第14回「しっかり土づくり」

日　時：令和3年11月18日（木）　9：30～12：30
会　場：四季の香ローズガーデン講習棟・実習地

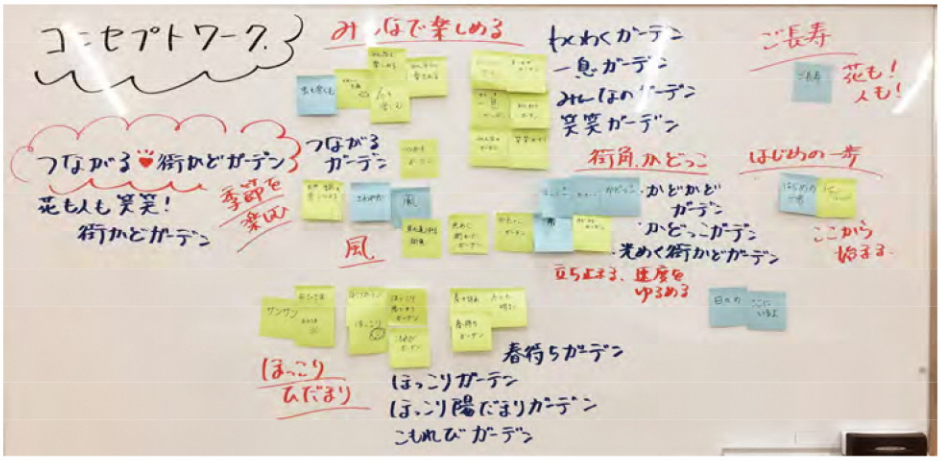
今回の講座の流れ

実習地花壇の環境について復習し、花壇のコンセプトを決定しました。その後、実習地花壇の花を摘み、残った花の抜取り・土づくりを行いました。

各プログラムの様子

コンセプトの決定

3月に確認した実習地花壇の環境（日当たり、立地など）を復習し、コンセプトを決めるためのキーワードを出し合いました。その結果、実習地花壇のコンセプトが「つながる♡街かどガーデン」に決定しました。



コンセプトの決定

花壇の花で作ったブーケ

花摘みタイム

まだ咲いている花を活用してブーケを作りました。花だけでなく、カラーリーフを取り入れると華やかなブーケをつくることができます。

土づくりの様子

抜取りと土づくり

花壇の花を抜取り、土づくりを行いました。抜取りは、土の中に埋まった根まで取り除きました。土づくりでは、酸度を調節する有機石灰と養分を与える緩効性肥料をまき、腐葉土を混ぜ込みました。12月の講座で、この花壇に新たな花を植え付けていきます。

「コミュニティ・ガーデン」とは？

コミュニティ・ガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティ・ガーデンです。

今回のキーワード

「小さな花束を作ろう」

（NPO Green Works 三浦）

植物は、時には思い切って切り戻しをしたり、枝透かしをする必要があります。まだ花が咲いているのにもったいないと、「なかなか切れない」というのは当然です。でも、植物のライフサイクルに沿って切ることは大切な作業。やむなく切ったお花は小さな花束にしてみましょう。

お花屋さんの花のように立派ではありませんが、ナチュラルな可愛らしさがあるのがガーデンの草花たち。切り戻した草花は長さがまちまちだし、切り花にしようと育てたわけではないし、捨てるつもりのものを利用するので、中途半端に小さいものも多いのですが、これこそが植物の活用。どんなに小さくても、一輪でも良いので、暮らしの中に取り入れてみましょう。

今月のお花紹介

マートル

ギンバイカ（銀梅花）とも呼ばれる常緑の花木で、梅の花に似た白い花を咲かせます。葉は甘い香りがするため、ハーブとしても親しまれています。